

# 加和太建設株式会社 (Mt.Fuji Brewing) TEL(055)987-5541

## ビール粕(麦芽粕)の活用による循環サイクル形成と地域経済活性化

- ▶ 所在地 〒411-0033 三島市文教町1-5-15
- ▶ 代表者 代表取締役 河田 亮一
- ▶ 設立 1946年2月
- ▶ 資本金 42,750千円
- ▶ 従業員数 272人
- ▶ 事業内容 建設業、土木業、不動産業

### クラフトビールをきっかけとした循環サイクルで富士宮市をもっと”元気に”

#### 事業の目的

これまでMt.Fuji Brewing(以下、MFB)のビール醸造時に得られるビール粕(麦芽粕)は産業廃棄物として処分されてきた。これを有効活用し、地域の牧場で肉牛を飼育いただき、その牛肉をMFB併設レストランで提供するという循環を形成。商品価値を高めると共にPR促進により地域の経済を活性化させる。

#### 事業の概要

クラフトビール醸造時に得られる麦芽粕は、腐敗しやすく、産業廃棄物として処分するしかなかった。これを発酵させることにより保存期間を延ばす方法を確立させる。また飼料として、地域の牧場に利用いただき、収穫物を併設レストランで提供するという循環を形成する。また、MFBウェブサイトにて本取組みの紹介及びSNS等を使ったPRによって発信力を高め地域の市場での商品力を高めていく。



ビール粕(麦芽の絞り粕)

#### SDGs達成に向けての成果

麦芽粕は腐敗しやすく、飼料としての安全性の面で不安があったが、発酵により保存期間を延ばすことに成功。保存方法を確立できた。また、発酵後の検査でも安全性が担保されたため、牧場へ飼料として提供するというリサイクルを推進できた。当初、イベントにてPRを考えていたが、コロナ禍で実施できず、代わりにウェブサイトで本取組み紹介ページを作成し、今後のPRに活かす土台を作ることができた。

成分	結果	単位	定量的下限値
JP240 YP 水分	分析手法: 飼料分析基準 (平成20年4月1日・19消安第14729号), 重量法		
水分	83.6	%	0.1
YP2J4 YP 粗灰分	分析手法: 飼料分析基準 (平成20年4月1日・19消安第14729号), 重量法		
灰分	0.6	%	0.1
YP2Z0 YP 粗タンパク質	分析手法: 飼料分析基準 (平成20年4月1日・19消安第14729号), デュマ法 (TCD検出器)		
たんぱく質	4.9	%	0.1
YP2J5 YP 粗脂肪	(ジエチルエーテル抽出法) 分析手法: 飼料分析基準 (平成20年4月1日・19消安第14729号), 重量法		
粗脂肪	1.8	%	0.1
YP2PX ext 粗繊維	分析手法: 飼料分析基準 (平成20年4月1日・19消安第14729号), 重量法		
粗繊維	3.8	%	0.1
カビ毒	結果	単位	定量的下限値
JP078 YP アフラトキシンB1	分析手法: 独自法, LC-MS/MS		
アフラトキシン B1	<0.01	mg/kg	0.01
JP061 YP デオキシニバレノール(DON)	分析手法: 独自法, LC-MS/MS		
デオキシニバレノール	<0.05	mg/kg	0.05
分析(一般)	結果	単位	定量的下限値
YP6WE YP 可溶性窒素	分析手法: 飼料分析基準 (平成20年4月1日・19消安第14729号), 計算法		
可溶性窒素	5.3	%	

発酵後の飼料分析結果

#### 成果からみるSDGs達成Goals

**4** 質の高い教育をみんなに

**11** 住み続けられるまちづくりを

**15** 陸の豊かさも守ろう



麦芽粕入りの混合飼料を食べる牛